



SPRINT™ による EV ドライブトレインの生産強化

オンマシンスキャニング

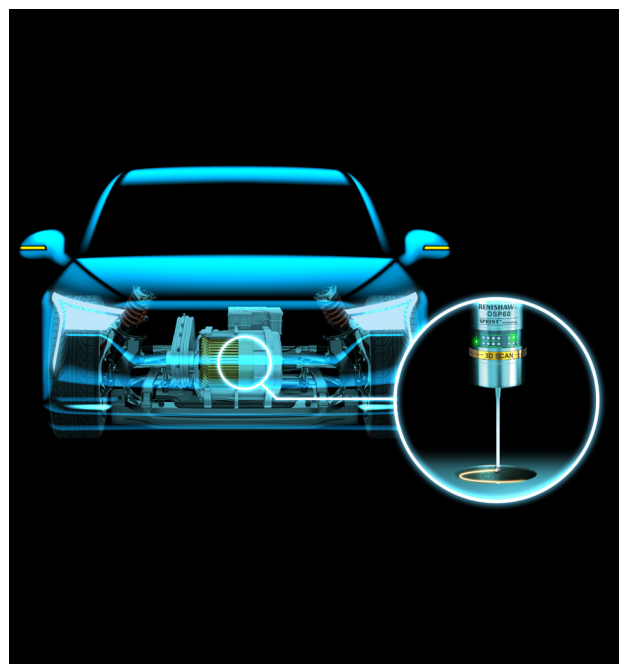
電気自動車 (EV) の生産が世界全体で急拡大しており、2022 年には EV 生産台数が初めて 1,000 万台を突破。世界の自動車生産全体の 12% を占めるに至った。2030 年までに、新車の 60% が燃料電池車または EV になると予想されている。

ガソリン車やディーゼル車に比べて可動部品がはるかに少ない EV のドライブトレインだが、公差の厳しさ、低摩擦動作およびノイズレベルの低減という独自の課題がある。

そのため、部品検査が重要であることに変わりはなく、ドライブトレインの設計開発に求められる要件の変化に合わせて検査を変えていく能力もまた同様である。

¹ 出典: Elements by Visual Capitalist (2023 年 4 月)。

² 出典: IEA (2022 年 9 月)。



オンマシンスキャンニング技術への投資 がもたらすメリット

SPRINT™ を実装したレニショー OSP60 プローブは、ワークセットアップ、工程内寸法計測そして形状確認を短時間で正確に行うための製品であり、EV ドライブトレイン部品メーカー向けに柔軟なオンマシンソリューションとして寄与することができる。

時間がかかる上にエラーが生じやすい手作業を自動化できるオンマシンスキャンニングであれば、部品製造のあらゆる段階で堅牢かつ繰り返し精度の高い計測が可能となる。

同等のタッチトリガープローブよりも計測サイクルタイムを最大で 10 分の 1 に短縮し、CNC 工作機械の収益性と生産性を高める。

レニショーは、EV 用ドライブトレインソリューションの世界大手サプライヤと連携して、EV 車軸の生産に SPRINT 技術を導入してきた。SPRINT 技術を用いてストレート穴やテーパ穴の円筒度と同心度を確認することで、形状確認の速度と精度が大幅に向上した。



本書の情報は、SPRINT 技術を実装したレニショー OSP60 プローブの既存環境に基づく。

SPRINT™ 実装のレニショー OSP60 プローブがもたらす成果:

- ・ オンマシンソリューションによる、オフライン計測への依存度低減
- ・ 計測の速さと豊富な計測情報データ
- ・ 精度の高い結果によるスクラップとやり直しの低減
- ・ 機械の生産能力と収益性の向上
- ・ パーツのセットアップと寸法確認だけに留まらない柔軟性

☎ 03-5366-5315

✉ japan@renishaw.com

© 2024 Renishaw plc. 無断転用禁止。RENISHAW® およびプローブシンボルは、Renishaw plc の登録商標です。レニショー製品の名称および呼称ならびに「apply innovation」マークは、Renishaw plc およびその子会社の商標です。その他のブランド名、製品名または会社名は、各々の所有者の商標です。Renishaw plc. イングランドおよびウェールズにおいて登録。会社登録番号: 1106260。登録事務所: New Mills, Wotton-under-Edge, Glos, GL12 8JR, UK
本書作成にあたり細心の注意を払っておりますが、レニショーは、法律により認められる範囲で、いかなる保証、条件提示、表明、損害賠償も行いません。

#renishaw

パーツ No.: H-2000-3670-01-A